

＜経営診断の概要＞

1 経営診断の目的

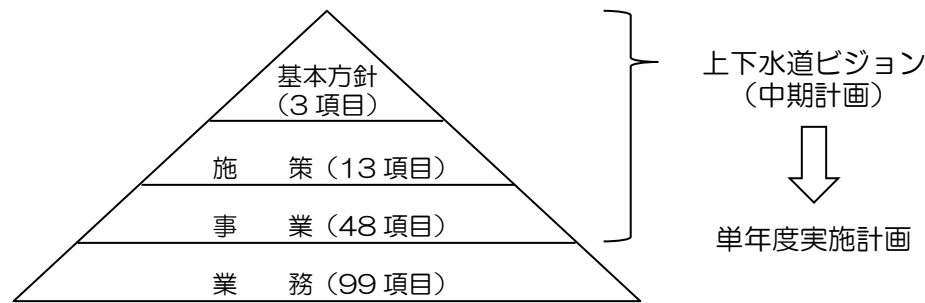
上下水道局は上下水道ビジョンの実現に向け、単年度実施計画のもと事業を行っています。この単年度実施計画に対し、上下水道局はPDCAサイクルによるマネジメントを導入しており、経営診断はPDCAサイクルのCheck(評価)として、自己評価と外部評価(懇話会)により実施しています。

2 診断結果の活用

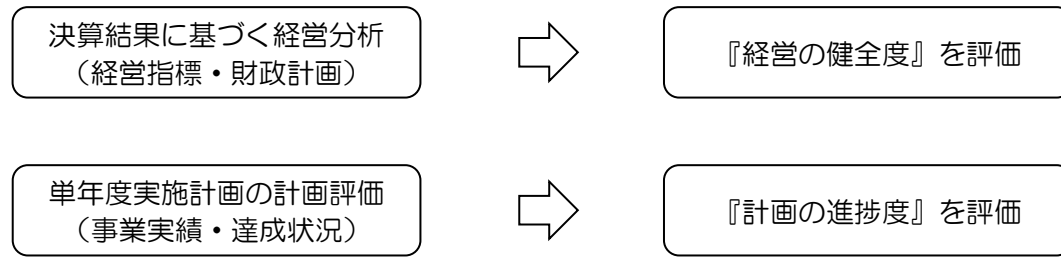
- PDCAサイクルとして診断結果(Check)を、年度後半の取組と次年度の単年度実施計画に反映(Action)します。
診断結果を経営診断書にとりまとめ、上下水道局HPにて公表し、市民の方の水道・下水道事業に対する理解と経営の透明性を高めます。

4 ビジョン・単年度実施計画の構造

- 基本方針
1.安全安心なライフラインの確保
2.将来に向けた快適な暮らしの確保
3.しんらいを築く堺の上下水道への挑戦

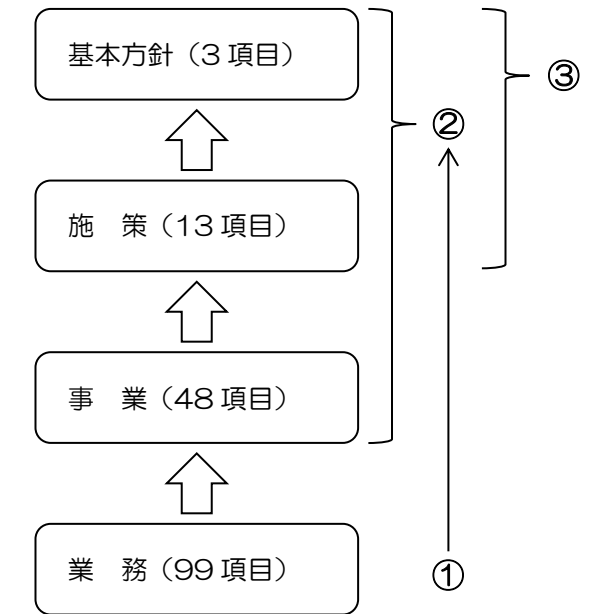


3 経営診断の方法

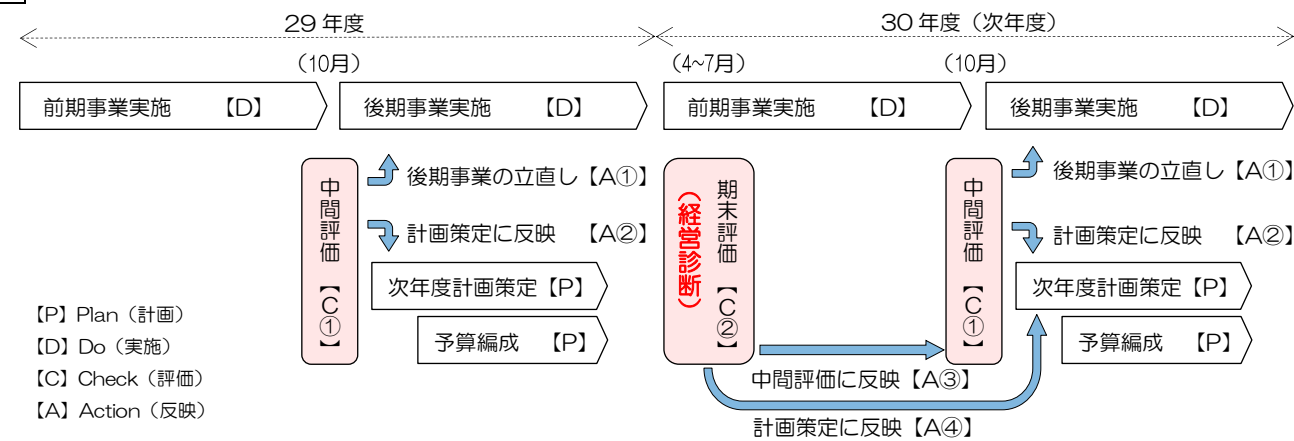


6 経営診断の流れ

- 各担当部署による自己評価
局経営幹部による自己評価
外部評価(懇話会にて意見聴取)



5 上下水道局 PDCA サイクル



診断結果

＜経営分析＞

■水道事業

Table with 4 sections: ①収益性, ②安定性, ③効率性, ④料金. Columns include unit, direction, 29th year, 28th year, and average of 28th year.

- 懇話会意見
有収水量が減少していることから、不明水を減らすための取組(対策・分析等)を行っていただきたい。
経常収支比率は100%を上回っているが、将来的に厳しくなることが予想される。
営業費用を削減させる方策を検討し、経営の安定を維持していただきたい。

■下水道事業

Table with 4 sections: ①収益性, ②安定性, ③効率性, ④料金. Columns include unit, direction, 29th year, 28th year, and average of 28th year.

- 懇話会意見
経営状況は改善に向かいつつあるが、引き続き厳しい状況が続いており、より一層経営改革に取り組んでいかなければならない。
今後、管きょの経年化率が高まることから、アセットマネジメント計画を策定し、事業費と企業債借入額の抑制に取り組んでいただきたい。

＜計画評価＞

1.安全安心なライフラインの確保

Table with 3 columns: Policy name, 29th year, 28th year. Lists 4 items related to safe water supply.

2.将来に向けて快適な暮らしの確保

Table with 3 columns: Policy name, 29th year, 28th year. Lists 6 items related to comfortable living.

3.しんらいを築く堺の上下水道への挑戦

Table with 3 columns: Policy name, 29th year, 28th year. Lists 3 items related to building trust.

【懇話会意見】

- 1.安全安心なライフラインの確保
「安全安心なライフラインの確保」は着実に進んでいると評価できる。
水道の優先耐震化路線の構築や浸水危険解消重点地区の対策工事など、一部事業の遅れを取り戻していただきたい。
業務の外部委託が進むなか、市民窓口機能を担う委託業者との連携を含めて評価されたい。
2.将来に向けて快適な暮らしの確保
「将来に向けた快適な暮らしの確保」はほぼ着実に進んでいると評価できる。
水道幹線管の更新(耐震化)や配水池の劣化度調査など、ビジョン期間内に事業目標を達成できるよう、取り組んでいただきたい。
有収率が低下傾向にあることから、不明水対策が重要である。
3.しんらいを築く堺の上下水道への挑戦
「しんらいを築く堺の上下水道への挑戦」は積極的に取り組まれていると評価できる。
水道、下水道事業の信頼を高め、運営体制を強化する事業が概ね計画どおり実施されている。

- 組織運営全般
今池水みらいセンターにおける下水道管破損事故では、事態を早い段階で抑えることができ、平常時の取り組みが活かされたものと評価したい。

凡例
S:計画を超えて達成した A:計画を達成した
B:計画を概ね達成した C:計画を達成しなかった